

東京都内の郷土館における更新世貝化石の展示

川辺文久¹⁾

武蔵野台地東部に分布する“東京層”からは第四紀更新世の貝化石が産出する。ところが、都市化が進んだ東京都区部では化石を採集できる場所はほとんどなくなった。区立の郷土館のなかには、歴史・考古学資料のみならず、地元産の化石を所蔵・展示している施設がある。地質学への理解や興味を促す上で、郷土館の存在意義は大きい。



写真1 北区飛鳥山博物館の展示
北区十条仲原の清水坂公園内の自然ふれあい情報館建設時に採集された王子貝層の貝化石。1992年採集。同館は王子貝層を研究したブラウンスや徳永重康の功績を紹介している。

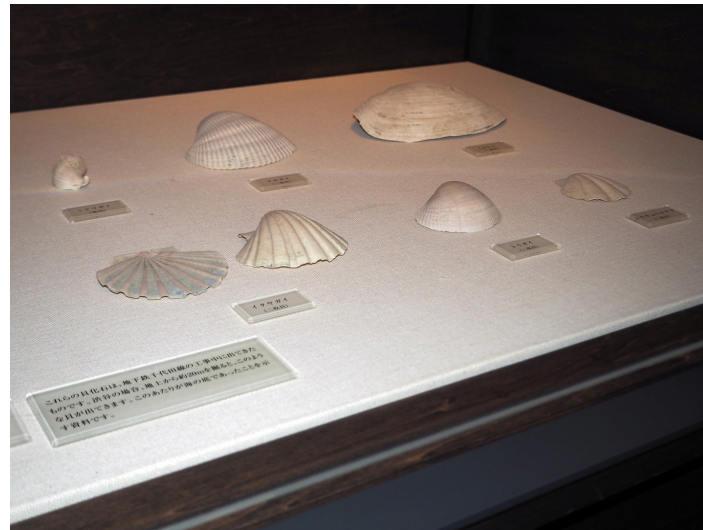


写真2 白根記念渋谷区郷土博物館・文学館の展示
渋谷区神宮前の地下鉄千代田線工事の際に採集された貝化石14種が展示されている。1971年採集。同館には同地点から採集されたナウマンゾウのレプリカ展示もある。



写真3 目黒区めぐろ歴史資料館の展示
東急東横線中目黒駅付近の蛇崩川^{じやくづれがわ}で採集された貝化石密集層のブロックが野外に展示されている。ミルクイ、イタヤガイ、ヤツシロガイなどが確認される。

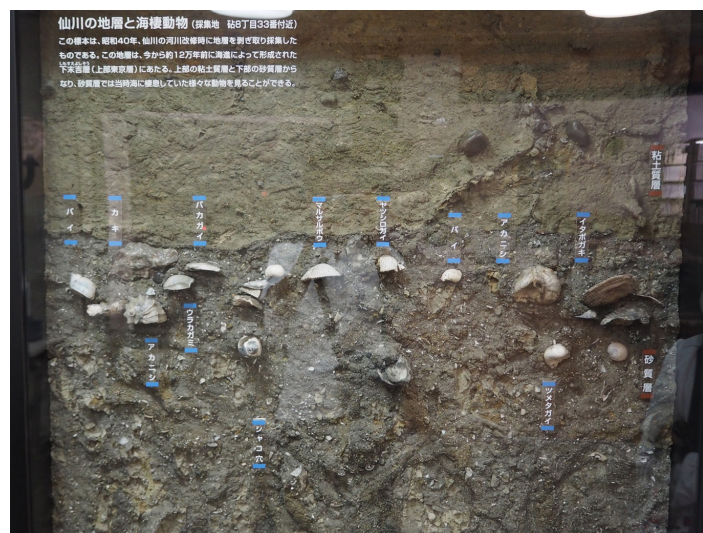


写真4 世田谷区立郷土資料館の展示
小田急線成城学園前駅付近の仙川の河川改修時の地層剥ぎ取り標本。1965年採集。

1) 文部科学省



写真5 板橋区立郷土資料館蔵の貝化石
1959年に板橋区徳丸七丁目で見つかった貝化石。特別展「水のゆくえ」
(平成30年1月20日～3月25日)で展示。

関連資料

- 板橋区教育委員会編（1980）成増露頭地質調査報告書，
文化財シリーズ，第32集 郷土史料集。板橋区教育委
員会，116p.
- 貝塚爽平（1979）東京の自然史 増補第二版。紀伊国屋
書店，239p.
- 川辺文久・中島 礼・加瀬友喜・田口公則・佐々木猛智・
守屋和佳（2018）東京都区部産のトウキョウホタテ
の産出記録および標本保管。GSJ地質ニュース，7，
67-79.
- 北区飛鳥山博物館編（2011）北区飛鳥山博物館常設展示
案内。北区教育委員会，120p.
- 中村新之介編（2018）平成29年度特別展「水のゆくえ」
図録。板橋区立郷土資料館，114p.



写真6 板橋区立郷土資料館蔵の剥ぎ取り標本
1979年に板橋区教育委員会が実施した成増露頭地質調査の
標本。特別展「水のゆくえ」(平成30年1月20日～3月25日)
で展示。